



イムス 2017年(平成29年)2月19日 日曜日 地 域 24

## 防災を考える

# 体調や経路 課題検証

### 沖縄市 要支援者の避難誘導訓練

【沖縄】災害時に自力で避難が困難な要支援者を避難誘導する訓練が12日、市海邦町自治会や周辺地域で行われた。参加した約70人の住民がチームに分かれて、車いす利用者を避難場所まで移動。町自治会の鏡平名良雄会長は「実際の避難経路を歩いてみないと分からないことも多い」と話した。

作成したマップを用いながら、所要時間や避難経路などを検証した。

訓練は、同日午前10時に本島南東沖でマグニチュード8.0の地震が発生し、大津波警報が発表されたことを想定。車いす利用者の自宅を訪れたチームは、家屋の周辺で倒壊がないか、火事が出ていないかをチェック。元栓を閉めるなど点検事項を確認し、車いすを押し避難した。「寒くないですか」「気分は悪くないですか」と、要支援者の体調も確認。避難場所のビルでは車いすからハイプに昇せ替え、3人で抱えて5階まで階段を上った。屋上に集まった住民らは「道が狭くて車いすが押しづらかった」「車いすを押し体力がないと難しい」「屋上に上るのせいで階段があることを知らなかった」と、気付いた点などを報告した。

車いすを押したのは、沖縄県中1年の金城善唯(みづの)は「もう少しスムーズに進んでほしいけど、歩道が狭くなった。いつも通る道が体が不自由な方にとっては、大変なことが多かった」と感想。同1年の大城天海(あま)も「体調を確認しながら避難することが難しかった」と話した。

自主防災組織会長で海邦町自治会の鏡平名良雄会長は

2017年度(平成28年度) 第2回「海邦町自主防災組織」防災訓練

日時:平成29年2月12日(日) 場所:海邦町自治公民館

～ 訓練実施次第 ～

8:40 受付 進行:自主防災組織副会長 屋良一寿  
～ 災害ビデオ放映 ～

訓練開始式

9:00 自主防災組織会長挨拶・・・自主防災組織会長 鏡平名良雄  
9:05 訓練概要説明・・・自主防災組織副会長 金城光弘  
9:10 来賓挨拶・・・沖縄市健康福祉部長 上原三千代  
9:15 避難支援モデル事業・・・沖縄市高齢福祉課地域包括支援センターの経過説明 主幹 西原真子  
9:20 車イス操作方法説明・・・沖縄市社会福祉協議会 上原健次  
9:25 要支援者応急搬送法説明・・・NPO法人防災サポート沖縄 副理事長 長堂政美

9:40 各班避難経路及び担当者確認  
・要支援者4名(公民館～要支援者宅～津波避難ビル)  
・自動避難5ルート(公民館～高台避難場所)

訓練開始

10:00 緊急地震速報対応行動訓練・・・FMコザ  
(訓練開始宣言)  
・公民館広報スピーカーより沖縄近海地震発生による津波警報  
・リスナーからの災害情報収集及び市災害対策本部への情報伝達訓練

10:05 各チーム訓練スタート  
11:00 各チーム訓練結果報告  
11:30 閉会の挨拶及び頑張ろう三唱・・・自主防災組織顧問 島田茂

しましまプラス トピックス